

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点



中杉通り

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」、「方南通り」、「柴又街道」と歩いてきました。

今回は「中杉通り」を歩きます。中杉通りは杉並区青梅街道の杉並区役所前交差点を起点に、練馬区の目白通りに至る延長約 5km の道です。写真右上は中杉通りの道路名標識（都道 427 号線）です。中杉通りの名は中野区と杉並区を結ぶ南北の道路で付いたと思っていましたが、歴史的には旧中村町と旧杉並町を結ぶ南北の道路だからという説があるそうです。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[杉並区役所前交差点] 杉並区阿佐ヶ谷南三丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 南阿佐ヶ谷駅

写真下左は青梅街道から見た中杉通りの起点で、右の建物（杉並区役所）の前から左へ入ります。見事なけやきの並木道が続きます。



【阿佐ヶ谷駅】 杉並区阿佐ヶ谷南三丁目

最寄駅 JR中央線 阿佐ヶ谷駅

中杉通りはJR中央線の阿佐ヶ谷駅南口（写真下左）を左に見て中央線のガード（写真下右）をくぐり進みます。



【阿佐ヶ谷神明宮（天祖神社）】 杉並区阿佐ヶ谷北一丁目

最寄駅 JR中央線 阿佐ヶ谷駅

世尊院前の信号を右折すると阿佐ヶ谷神明宮（旧称天祖神社）の大鳥居（写真下左）があります。阿佐ヶ谷神明宮は1190年（建久元年）頃の創建と伝わります。表参道から荘厳な境内に入ると、夫婦いちょうに守られた瑞祥門（神門）（写真下右）があります。



更に進むと拝殿（写真下左）があります。その奥の本殿（写真下右）には行けませんので、拝殿の脇から撮影しました。



〔世尊院〕 杉並区阿佐ヶ谷北一丁目 最寄駅 JR中央線 阿佐ヶ谷駅

中杉通りに戻り、世尊院山門（写真下左）を見て、その先右側から入り本堂（写真下右）にお参りしました。説明板によると「世尊院は室町時代（1429年頃）に創建の真言宗豊山派のお寺です。現在は中野区にある宝仙寺が阿佐ヶ谷から移転した後に宝仙寺の子寺で地元村民の寺として残されたのが世尊院です。明治22年～大正11年まで旧杉並村役場がこの寺の本堂に置かれていました」と記載。



[阿佐ヶ谷北六丁目交差点] 杉並区阿佐ヶ谷北六丁目

最寄駅 JR中央線 阿佐ヶ谷駅

阿佐ヶ谷北六丁目交差点（写真下右）で早稲田通り（都道 438 号線）と交差します。左へ行くと善福寺方面、右へ行くと中野方面で中杉通りは直進します。



[鷺沼八幡神社] 中野区白鷺一丁目 最寄駅 西武新宿線 鷺ノ宮駅



右側に鷺沼八幡神社の案内（写真上左）があり、右折すると鳥居（写真上右）がありました。写真下は本社です。説明板によると「創建は1064年（康平7年）



源頼義公勅を奉じ、東国平定後鎌倉街道に面した当地に社殿を建て八幡神のご神霊を奉祀し、戦勝感謝国家安泰、源氏の隆昌を祈願したのが始まりと伝えられる。往昔、境内に老樹林立し鷺が多く棲んでいたため、里人は、鷺沼大明神と称し、地名の起因となった。

1645年（正保2年）八幡神社と改称した。中野区内では江戸幕府より御朱印7石余を寄進せられた唯一の神社で崇敬厚き古社である」と記載。

中杉通りに戻り進むと左側に広場があり、妙正寺川改修記念碑（写真下左）と交通危除地藏堂（写真下右）がありました。



[妙正寺川] 中野区鷺沼四丁目 最寄駅 西武新宿線 鷺ノ宮駅

すぐ先が妙正寺川にかかる八幡橋（写真下左）でした。妙正寺川（写真下右）は杉並区の妙正寺池を源に中野区で江古田川、新宿区で神田川に合流します。



その先は西武新宿線の踏切（写真下左）で、右は鷺ノ宮駅（写真下右）です。



西武新宿線は新宿区の西武新宿駅から高田馬場駅、所沢駅を經由して埼玉県川越市の本川越駅を結ぶ西武鉄道の路線です。

[鷺沼四丁目交差点] 中野区鷺沼四丁目

最寄駅 西武新宿線 鷺ノ宮駅

鷺ノ宮四丁目交差点（写真下右）で青梅街道（都道 440 号線）と交差します。左へ行くと西東京方面、右へ行くと目白方面で、中杉通りは直進です。



[中村橋駅前交差点] 練馬区中村北四丁目

最寄駅 西武池袋線 中村橋駅

中村橋駅前交差点（写真下左）で千川通り（都道 439 号線）と交差します。左へ行くと環八通り方面、右へ行くと練馬駅方面です。中杉通りは直進して西武池袋線中村橋駅の下（写真下右）を通過します。西武池袋線は豊島区の池袋駅から埼玉県飯能市の飯能駅を經由して、同市の吾野駅を結ぶ西武鉄道の路線です。



[貫井二丁目交差点] 練馬区貫井二丁目

最寄駅 バスで大江戸線 練馬駅へ



目白通りの貫井二丁目交差点（写真左）が中杉通りの終点です。

これにて中杉通りの起点から終点まで歩きました。初めて歩いた道で歴史を感じる寺社が多くありました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月18日新居宿（現在の静岡県湖西市）（江戸日本橋から270km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「渡舟ノ図」です。二艘の渡し舟が舞坂から新居に漕ぎ出しました。先に行くのが大名一行が乗る舟をお供は乗る舟が続きます。向こう岸に見える新居には関所が設けられています。

新居宿の名物うまいものは「うず巻」(写真下左)と「あと引きせんべい」(写真下右)です。うず巻きは卯月園がつくる昔ながらの味と製法の巻きカステラのような和菓子です。歴史は比較的新しく第二次大戦後とのこと。あと引きせんべいはあと引き製菓の少し甘く、やや硬めの素朴な味のせんべいです。何代か先の先代が宿泊した大名に献上した所、ことのほか喜び持ち帰って広めたとのこと。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝